

4 林整治第2043号  
令和5年3月23日

神奈川県環境農政局 緑政部長 殿

林野庁森林整備部治山課長

保安林等の指定等に関する告示の取扱いについて

保安林及び保安施設地区の指定、解除並びに指定施業要件の変更等に関する告示の取扱いについて、「保安林及び保安施設地区の指定、解除等の取扱いについて」（昭和45年6月2日付け45林野治第921号林野庁長官通知）の一部改正に伴い、新たに別添のとおり定め、令和5年4月1日から適用することとしたので、御了知の上、その適正かつ円滑な実施につき特段の御配慮をお願いします。

また、「保安林及び保安施設地区の指定、解除等の取扱いについて」の規定により送付を依頼している告示の写しについては、別紙の報告様式により報告をお願いします。

なお、保安林の指定等の行政処分は、告示によって効力を生じる（森林法（昭和26年法律第249号）第33条第2項）こととされているので、告示に当たっては森林法、森林法施行令（昭和26年政令第276号）、森林法施行規則（昭和26年農林省令第54号）その他通達等によるもののほか当該参考資料により誤りがないよう適正に処理されたい。

これに伴い、「保安林の指定等の告示に関する参考資料の送付について」（昭和51年9月8日付け51-67林野庁治山課長通知）は廃止するので、御留意願いたい。

（担当：治山課企画班 内線6190）

(別 添)

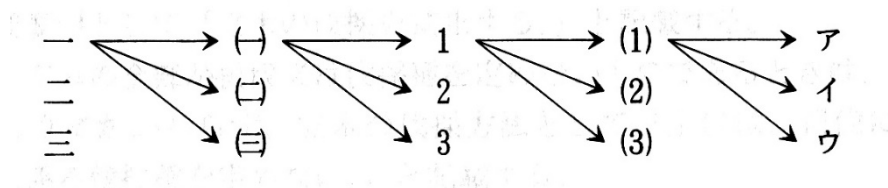
保安林及び保安施設地区の指定、解除並びに指定施業要件の変更等に関する告示の取扱いについて

## 第1 保安林

### 一 告示内容の構成

#### (一) 指 定

- 1 指定の目的（森林法（昭和26年法律第249号。以下「法」という。）第25条第1項第1号から第11号まで）が異なるものを同一の告示で取り扱うときは、一、二……と番号を附して区分する。
- 2 指定の目的による配列順序は、森林法に基づく保安林及び保安施設地区関係事務に係る処理基準について（平成12年4月27日付け12林野治第790号農林水産事務次官通知）の第1の1及び保安林及び保安施設地区の指定、解除等の取扱いについて（昭和45年6月2日付け45林野治第921号）の第1の1による保安林の種別に、①から⑰までの順によるものとする。
- 3 番号は次によるものとする。



#### (二) 解 除

- 1 法第26条第1項及び第2項並びに第26条の2第1項及び第2項の規定による解除は、同一の告示で取り扱わないこと。
- 2 保安林として指定された目的、又は、法第26条第2項及び第26条の2第2項の規定による解除の理由を異にするものを同一の告示で取り扱うときは、番号を附して区分する。
- 3 (一)の2による区分は、まず保安林として指定された目的により区分し、次に解除の理由により区分する。
- 4 指定された目的の順序は(一)の3に同じ。
- 5 番号は(一)の4に同じ。

#### (三) 保安林の指定目的（保安林の種類）の変更

- 1 指定目的の変更は、同一の保安林について、解除と指定を同一の告示で取り扱うものとする。（五の(二)の掲載例参照）  
ただし、同一の民有保安林について、法第25条第1項第1号から第3号までに掲げる保安林（以下「1～3号保安林」という。）を、同項第4号から第11号までに掲げる保安林（以下「4号以下保安林」という。）に変更する場合、又は、4号以下保安林を1～3号保安林に変更する場合の告示を除く。
- 2 同一の民有保安林について、1～3号保安林を解除して4号以下保安林に指定する場合は、原則として、4号以下保安林を先行して指定した後に1～3号保安

林の解除を行うものとする。

- 3 同一の民有保安林について、4号以下保安林を解除して、1～3号保安林に指定する場合は、原則として、1～3号保安林を指定した後に4号以下保安林の解除を行うものとする。
- 4 指定の目的、又は、地域森林計画区がすべて同一である場合には、常に「一解除」、「二指定」とし、それ以外の場合には、「一(一)解除」、「(二)指定」、「二(一)解除」、「(二)指定」のように表示する。
- 5 指定の所在場所は、解除と同一であるから「一の(一)に同じ」と表示する。(五の(二)の掲載例参照)

(四) 指定施業要件の変更

- 1 告示内容の構成は、(一)の指定の1、2及び3に準ずる。
- 2 指定施業要件の表示の方法は、指定施業要件を変更する部分のほか変更を要しない部分も併せて表示する。(五の(三)の掲載例参照)

## 二 保安林の所在場所の表示の方法

(一) 総括的な表示方法

- 1 市郡名、町村名、大字名、字名及び地番は、重複して表示しないこと。
- 2 同一の字で地番が2以上あるときは、若い地番から表示する。
- 3 地番が1、2、3、4のように3筆以上連続する場合は、「〇〇から〇〇まで」と一括して表示すること。
  - (1) 親番号が同じで支番号が甲、乙、丙、……。第1、第2、第3、……。の1、の2、の3、……。子、丑、寅、……。のように3筆以上連続する場合は、それぞれ一括して「〇〇の〇〇から〇〇の〇〇まで」と表示する。
  - (2) 支番号を付した地番が1のイ、1のロ、1のハ(イロハ順)又は、1のあ、1のい、1のう(あいうえお順)のように支番号がかたかな、ひらがなである場合は3筆以上連続する場合であっても、「1のイから1のハまで」、又は、「1のあから1のうまで」と一括表示しないこと。
  - (3) 支番号が1の甲、2の甲、3の甲のように3筆以上連続する場合であっても「1の甲から3の甲まで」と表示しないこと。
  - (4) 1筆の土地の全部を指定、又は解除する地番(以下「全部指定地番」又は「全部解除地番」という。)と、1筆の土地の一部を指定、又は解除する地番(以下「一部指定地番」又は「一部解除地番」という。)がそれぞれ連続する場合は、両者を混同しないようそれぞれの区分ごとに「〇〇から〇〇まで」と一括表示する。この場合において「全部解除地番」とは、保安林の区域が1筆の土地の一部であると全部であるとかかわらず1筆の土地に保安林として指定された区域の全部を解除する場合をいい「一部解除地番」とは、保安林の区域が1筆の土地の一部であると全部であるとかかわらず1筆の土地に保安林として指定された区域の一部を解除する場合をいう。
- 4 国有林に係る森林(又は保安林)であって、全部指定地番又は全部解除地番が1筆の場合は、地番の次に「(国有林)」と表示する(官行造林地を除く。以下同じ。)。なお、全部指定地番又は全部解除地番が2筆以上の場合はその最終地番の次に

「（以上○筆国有林）」と表示する。

- 5 2筆以上の全部指定地番、又は、全部解除地番を表示する場合は、「1、2、4から7まで、9、12」のように地番と地番の間に「、」を表示する。

- 6 1筆の土地の一部を指定又は解除する場合の表示方法

(1) 一部指定地番又は一部解除地番が1筆である場合は、地番の次に「（次の図に示す部分に限る。）」と表示し、当該森林（又は保安林）が国有林である場合は、「（国有林。次の図に示す部分に限る。）」と表示する。

(2) 2筆以上の一部指定地番、又は、一部解除地番を表示する場合は、「1・2・4から7まで・9・12」のように地番と地番の間に「・」を表示する。

ただし、当該森林（又は保安林）が国有林である場合は、指定、又は、解除等の区域が全部であると、一部であるとかかわらず、地番と地番の間（地番のない場合は字と字の間）は「・」をもって表示する。

(3) 一部指定地番、又は、一部解除地番が2筆以上ある場合は、その最終地番の次に「（以上○筆について次に図の示す部分に限る。）」と表示し、当該森林（又は保安林）が国有林である場合は、「（以上○筆国有林。次の図に示す部分に限る。）」と表示する。

(4) 一部指定地番、又は、一部解除地番が3筆以上連続する場合は、「○○から○○まで（以上○筆について次の図に示す部分に限る。）」と表示する。

(5) (一)の2にかかわらず一部指定地番と、全部指定地番、又は、一部解除地番と全部解除地番がある場合は、字ごとにそれぞれ区分し、「4・9（以上2筆について次の図に示す部分に限る。）」、2、7のように」表示することもできる。

(6) 所在場所の名称が市町村、大字名、又は字名で終り、地番が附されていない場合は、指定、又は解除等の区域が市町村、大字、又は、字の一部であると全部であるとかかわらず「（次の図に示す部分に限る。）」と表示する。

ただし、当該森林（又は保安林）が国有林である場合は、「（国有林。次の図に示す部分に限る。）」と表示し、大字名、又は、字名が2以上ある場合は「（以上○大字（又は○字）国有林。次の図に示す部分に限る。）」と表示する。（五の（四）の掲載例参照）

- (二) 民有林と国有林を同一告示で取り扱う場合

1 市郡名、町村名、大字名及び字名は重複しないよう、国有林と民有林は区分し国有林から表示する。

2 その他については、作成要領において該当する項目を参照すること。

- (三) その他の作成要領

1 字名が数字の場合は、地番との間を一字あけて表示する。

2 指定、又は解除区域において同一字名中同一地番が存在する場合は、一番地のみを表示し、その指定又は解除の地番が1筆の土地の一部であると全部であるとかかわらず、その地番の次に「（次の図に示す部分に限る。）」と表示する。

3 指定施業要件のうち、立木の伐採の方法に係る所在場所の表示には、市郡名、町村名、大字名を表示する必要はなく「字○○番地」と表示する。

ただし、字名の表示がなく、大字で終る場合は、大字名から表示する。（五の（三）の掲載例参照）

- 4 指定施業要件の指定のうち、立木の伐採方法の表示については、1地番（1筆の土地の全部であると一部であるとかかわらず保安林に指定する場合）に2以上の伐採方法（禁伐・択伐又は択伐・皆伐若しくは禁伐・択伐・皆伐）を定める場合は、「（次の図に示す部分に限る。）」と表示し、当該地番が2筆以上ある場合は「次の図」の上に「以上〇筆」と表示する。（五の（二）、五の（三）の掲載例参照）

### 三 縦覧を要する場合の表示方法

- （一） 告示の末尾には、「（次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を〇〇県庁並びに関係市役所及び町村役場に備え置いて縦覧に供する。）のように表示する。

#### 例 示

市役所	町村役場	縦 覧 場 所 の 例 示
複数	複数	〇〇県庁並びに関係市役所及び町村役場
単一	単一	〇〇県庁並びに〇〇市役所及び〇〇町役場（〇〇村役場）
—	複数	〇〇県庁及び関係町村役場
複数	—	〇〇県庁及び関係市役所
単一	複数	〇〇県庁並びに〇〇市役所及び関係町村役場
複数	単一	〇〇県庁並びに関係市役所及び〇〇町役場（〇〇村役場）
単一	—	〇〇県庁及び〇〇市役所
—	単一	〇〇県庁及び〇〇町役場（〇〇村役場）

- （二） 告示の内容中に「次の図」及び「次のとおり」がない場合は縦覧事項は表示しないこと。
- （三） 告示の内容中に「次の図」がない場合には、「（次の図及び」及び「図面及び」）を削り、「次のとおり」がない場合には、「（及び次のとおり」及び「及び関係書類」）を削る。

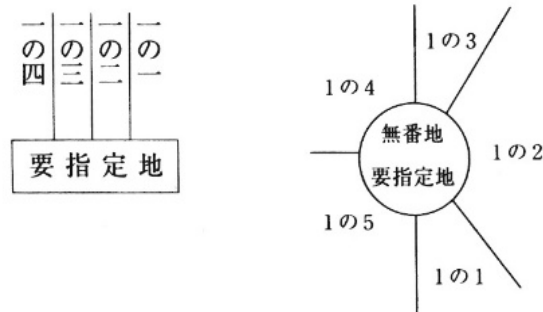
### 四 その他注意事項

- （一） 「かかる」「ならび」「および」「伐期令」は「係る」「並びに」「及び」「伐期齢」を用いるものとする。
- （二） 指定又は解除対象地が無番地（不動産登記簿上所在番地の表示がされていない土地。）の場合の表示方法

指定又は解除しようとする対象地（以下「対象地」という。）が無番地であって、その対象地の接続地、又は、対象地を取囲む土地の所在地番が存在する場合は、これらの所在地番をそれぞれ表示する。この場合において、それぞれの所在地番ごとに「地先」の名称を表示し、最後に（次の図に示す部分に限る。）と表示する。（ただし、対象地が林野庁所管の国有林の場合を除く。）なお、対象地が林野庁所管以外の

国有林の場合は「次の図……」の前に「国有林」の名称を表示する。

例 示



1の1地先・1の2地先・1の3地先・1の4地先・1の5地先（以上○筆地先国有林。次の図に示す部分に限る。）

(三) 法第27条第1項の規定による指定又は解除の申請をした後第33条第1項の規定による告示（確定告示）が行われるまでの間に申請に係る森林について所在場所の名称又は地番に変更があった場合の取扱い

1 都道府県知事は、法第29条の通知を受けた場合又は法第30条の予定告示を行う前に、あらかじめ適宜な方法により、当該保安林予定森林等の所在場所の名称又は地番に変更がないか確認した後、正しい所在場所の名称及び地番等で当該告示を行うものとする。

2 都道府県知事は、指定又は解除の申請から法第30条の規定による告示が行われるまでの間に申請に係る所在場所の名称又は地番に変更があった場合は、変更後の正しい所在場所の名称又は地番を告示して林野庁長官に報告する。

なお、この場合において所在場所の名称又は地番を変更した部分について当該変更に係る所在場所の名称又は地番、変更の時期、その他必要な事項を記載した書面により林野庁長官に報告するものとする。

3 都道府県知事は、指定又は解除の申請から法第30条の規定による告示が行われるまでの間に申請に係る所在場所の名称又は地番に変更があったものについて法第30条の規定による告示を変更前の所在場所の名称又は地番で行った場合には当該告示の訂正を行い、その訂正告示の写し、その他必要な事項を記載した書面を添付して林野庁長官に報告するものとする。

4 都道府県知事は、指定又は解除に係る所在場所の名称又は地番が法第30条の告示から法第33条第1項の告示までの間に変更されていることを確知し得た場合は、電話等により速やかに林野庁に連絡すると共に、その部分について、当該変更に係る所在場所の名称又は地番、変更の時期、その他必要な事項を記載した書面により林野庁長官に報告するものとする。

5 保安林の解除について申請者等が法第27条の申請から官報告示までの間に所在場所の名称又は地番を変更しようとする場合は、あらかじめ、都道府県保安林担当者に申出てから変更するよう申請者等を指導するものとする。

なお、保安林の所在場所の名称又は地番を変更した場合は、都道府県の保安林担当者は、林野庁保安林担当者に対して速やかに、所在場所の名称又は地番等の変更について適切な措置がとられるよう連絡するものとする。

- 6 都道府県知事は保安林の指定又は解除について官報告示がなされた場合は、速やかに所在場所の名称又は地番等に誤りがないか照合するとともに官報告示の訂正を必要とする場合は、当該告示がなされた日から1箇月以内に当該告示の訂正を必要とする理由等を記載した文書により速やかに農林水産大臣宛て提出するものとする。

## 五 告示の掲載例

- (一) 指定施業要件の記載方法については、次の基本例による。

(基本例1 禁伐－間伐その他特別の場合の伐採に係るものがない場合)

- |                           |
|---------------------------|
| (三) 指定施業要件<br>立木の伐採を禁止する。 |
|---------------------------|

(基本例2 禁伐－間伐その他特別の伐採に係るものがある場合)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| (三) 指定施業要件                        |
| 1 立木の伐採の方法                        |
| (1) 主伐に係る立木の伐採を禁止する。              |
| (2) 間伐その他特別の場合の伐採に係るものは、次のとおりとする。 |
| 2 立木の伐採の限度                        |
| 次のとおりとする。                         |

(基本例3 禁伐－間伐に係るもののみがある場合)

- |                        |
|------------------------|
| (三) 指定施業要件             |
| 1 立木の伐採の方法             |
| (1) 主伐に係る立木の伐採を禁止する。   |
| (2) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。 |
| 2 立木の伐採の限度             |
| 次のとおりとする。              |

(基本例4 禁伐－特別の場合の伐採に係るもののみがある場合)

- |                              |
|------------------------------|
| (三) 指定施業要件                   |
| 1 立木の伐採の方法                   |
| (1) 主伐に係る立木の伐採を禁止する。         |
| (2) 特別の場合の伐採に係るものは、次のとおりとする。 |
| 2 立木の伐採の限度                   |
| 次のとおりとする。                    |

(基本例5 択伐－間伐その他特別の場合の伐採に係るものがない場合)

- |                                    |
|------------------------------------|
| (三) 指定施業要件                         |
| 1 立木の伐採の方法                         |
| (1) 主伐は、択伐による。                     |
| (2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市 |

町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

2 立木の伐採の限度

次のとおりとする。

(基本例6 択伐－間伐その他特別の場合の伐採に係るものがある場合)

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 主伐は、択伐による。

(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐その他特別の場合の伐採に係るものは、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度

次のとおりとする。

(基本例7 択伐－間伐に係るもののみがある場合)

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 主伐は、択伐による。

(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度

次のとおりとする。

(基本例8 択伐－特別の場合の伐採に係るもののみがある場合)

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 主伐は、択伐による。

(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 特別の場合の伐採に係るものは、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度

次のとおりとする。

(基本例9 伐採種を定めない－特別の場合の伐採に係るものがなく、かつ、植栽の方法、期間及び樹種を定めない場合)

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 主伐に係る伐採種は、定めない。

(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市

町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度

次のとおりとする。

(基本例 10 伐採種を定めない―特別の場合の伐採に係るものがなく、かつ、植栽の方法、期間及び樹種を定める場合)

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 主伐に係る伐採種は、定めない。

(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度並びに植栽の方法、期間及び樹種

次のとおりとする。

(基本例 11 伐採種を定めない―特別の場合の伐採に係るものがあり、かつ、植栽の方法、期間及び樹種を定めない場合)

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 主伐に係る伐採種は、定めない。

(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐その他特別の場合の伐採に係るものは、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度

次のとおりとする。

(基本例 12 伐採種を定めない―特別の場合の伐採に係るものがあり、かつ、植栽の方法、期間及び樹種を定める場合)

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 主伐に係る伐採種は、定めない。

(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐その他特別の場合の伐採に係るものは、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度並びに植栽の方法、期間及び樹種

次のとおりとする。

(二) 保安林の指定目的（保安林種）の変更の掲載方法については、次の例による。

一 解 除

(一) 保安林の所在場所

〇〇県〇〇郡〇〇村大字〇〇字〇〇2182 から 2186 まで、字〇〇3583、3586、4792、4794（次の図に示す部分に限る。）

(二) 保安林として指定された目的

土砂の流出の防備

(三) 解除の理由

指定理由の消滅

二 指 定

(一) 保安林の所在場所

1 の(1)に同じ

(二) 指定の目的

水源のかん養

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 次の森林については、主伐に係る立木の伐採を禁止する。

字〇〇2185（次の図に示す部分に限る。）

(2) 次の森林については、主伐は、択伐による。

字〇〇2184、字〇〇3583・3586（以上2筆について次の図に示す部分に限る。）

(3) その他の森林については、主伐に係る伐採種を定めない。

(4) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(5) 間伐その他特別の場合の伐採に係るものは、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度並びに植栽の方法、期間及び樹種

次のとおりとする。（「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を〇〇県庁及び〇〇村役場に備え置いて縦覧に供する。）

(三) 指定施業要件の変更の掲載方法については、次の例による。

一 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

〇〇県〇〇郡〇〇町大字〇〇字〇〇123 の1・123 の2（以上2筆について次の図に示す部分に限る。）

二 保安林として指定された目的

土砂の流出の防備

三 変更後の指定施業要件

(一) 立木の伐採の方法

1 次の森林については、主伐は、択伐による。

字〇〇123 の1（次の図に示す部分に限る。）

2 その他の森林については、主伐に係る伐採種を定めない。

3 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

4 間伐その他特別の場合の伐採に係るものは、次のとおりとする。

(二) 立木の伐採の限度並びに植栽の方法、期間及び樹種  
次のとおりとする。（「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を〇〇県庁及び〇〇町役場に備え置いて縦覧に供する。）

(四) 保安林の解除の掲載方法については、次の例による。

一(一) 解除に係る保安林の所在場所  
〇〇県〇〇郡〇〇町大字〇〇字〇〇・大字〇〇字〇〇の 1 の 1・1 の 2  
(以上国有林)、大字〇〇字〇〇1865 の 1・2571 の 1 (以上 2 筆国有林。次の図に示す部分に限る。)、2571 の 5・2571 の 7・2571 の 8 (以上 3 筆について次の図に示す部分に限る。)、2571 の 9・2571 の 10  
(二) 保安林として指定された目的  
水源のかん養  
(三) 解除の理由  
林道用地とするため  
二(一) 解除に係る保安林の所在場所  
〇〇県〇〇郡〇〇村大字〇〇字〇〇・大字〇〇字〇〇 (以上 2 筆国有林。次の図に示す部分に限る。)、字〇〇 1 の甲から 1 の丙まで、1 のイ、1 のロ、1 のハ、1 の 1・1 の 2・1 の 5・1 の 7 から 1 の 10 まで (以上 7 筆について次の図に示す部分に限る。)、〇〇市〇〇字〇〇123、124、125 (次の図に示す部分に限る。)、126  
(二) 保安林として指定された目的  
土砂の流出の防備  
(三) 解除の理由  
道路用地とするため  
(「次の図」は、省略し、その図面を〇〇県庁並びに関係市役所及び町村役場に備え置いて縦覧に供する。)

## 第 2 保安施設地区

### 一 保安施設地区の所在場所の表示方法

標柱の設置による区域表示と併記することとなる所在場所（市町村・大字・字・地番）の名称は、当該保安施設地区として指定する区域内に含まれている地番のうち、標柱が設置されている地番のみを表示すること（(五)の参考図参照）。

### 二 その他注意事項

同一の告示で 2 以上の保安施設地区の指定をする場合において指定の目的、指定施業要件、指定の有効期間は一括して表示してさしつかえない（基本例 1 参照）。

### 三 告示の掲載例

(一) 指定施業要件の指定等については、第 1 の五の告示の掲載例に準じて取り扱うこと。

(二) 保安施設地区の指定の掲載方法については、次の例による。

(基本例 1)

一(一) 保安施設地区の所在場所

- 1 次に掲げる土地に存する標柱 1 号から標柱 4 号までを順次結んだ線及び標柱 1 号と標柱 4 号を結んだ線に囲まれた区域（次の図に示すとおりとする。）

〇〇県〇〇郡〇〇村大字〇〇字〇〇869、873 のイ、字〇〇1110 のイ、1115

- 2 次に掲げる土地に存する標柱 1 号から標柱 5 号までを順次結んだ線及び標柱 1 号と標柱 5 号を結んだ線に囲まれた区域並びに標柱 6 号から標柱 10 号までを順次結んだ線及び標柱 6 号と標柱 10 号を結んだ線に囲まれた区域（次の図に示すとおりとする。）

〇〇県〇〇郡〇〇町大字〇〇字〇〇5201 のイ、5202、字〇〇5422 のロ、5423、5424

- 3 次に掲げる土地に存する標柱 1 号から標柱 8 号までを順次結んだ線及び標柱 1 号と標柱 8 号を結んだ線に囲まれた区域（次の図に示すとおりとする。）

〇〇県〇〇郡〇〇市大字〇〇字〇〇455 の 1、457 の 1、458 の 2

(二) 指定の目的

土砂の流出の防備

(三) 指定施業要件

立木の伐採を禁止する。

(四) 指定の有効期間

7 年

（「次の図」は、省略し、その図面を〇〇県庁並びに関係市役所及び町村役場に備え置いて縦覧に供する。）

(基本例 2)

一(一) 保安施設地区の所在場所

次に掲げる土地に存する標柱 1 号から標柱 16 号までを順次結んだ線及び標柱 1 号と標柱 16 号を結んだ線に囲まれた区域（次の図に示すとおりとする。）

〇〇県〇〇郡〇〇町大字〇〇字〇〇2682、字〇〇2781

(二) 指定の目的

土砂の流出の防備

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

(1) 主伐は、択伐による。

(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

(四) 指定の有効期間

7 年

二(一) 保安施設地区の所在場所

- 1 次に掲げる土地に存する標柱 1 号から標柱 6 号までを順次結んだ線及び標柱 1 号と標柱 6 号を結んだ線に囲まれた区域（次の図に示すとおりとする。）

〇〇県〇〇市〇〇705、706、813 の 1、814 の 1

- 2 次に掲げる土地に存する標柱 1 号から標柱 23 号までを順次結んだ線及び標柱 1 号と標柱 23 号を結んだ線に囲まれた区域（次の図に示すとおりとする。）

〇〇県〇〇郡〇〇町大字〇〇字〇〇670 の 1、670 の 2、671 から 674 まで

- 3 次に掲げる土地に存する標柱 1 号から標柱 5 号までを順次結んだ線及び標柱 1 号と標柱 5 号を結んだ線に囲まれた区域（次の図に示すとおりとする。）

〇〇県〇〇郡〇〇村大字〇〇字〇〇1291 の 1、1291 の 2、字〇〇1540、1541

(二) 指定の目的

土砂の崩壊の防備

(三) 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

- (1) 次の森林については、主伐に係る立木の伐採を禁止する。

字〇〇の 670 の 1、670 の 2、字〇〇1540（次の図に示す部分に限る。）、1541

- (2) その他の森林については、主伐は択伐による。

- (3) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

2 立木の伐採の限度

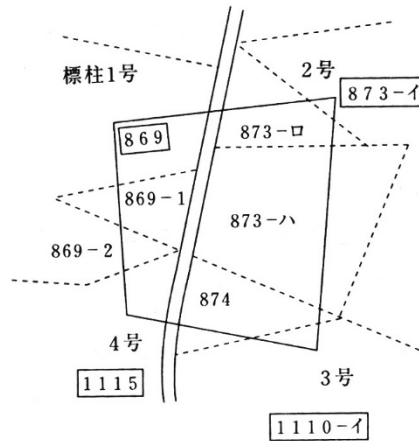
次のとおりとする。

(四) 指定の有効期間

7 年

（「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を〇〇県庁並びに関係市役所及び町村役場に備え置いて縦覧に供する。）

(五) 参考図(基本例一の1)



① 告示を要する地番

869  
873-イ  
1110-イ  
1115

② 告示を要しない地番

873-ロ  
873-ハ  
874  
869-1  
869-2

(別紙)

番 号  
年 月 日

林野庁長官 宛

〇〇都道府県知事

保安林の指定に係る予定告示等の報告について（国有林・民有林）

令和 年 月 日付け〇〇林整治第〇〇号をもって通知のあった保安林の指定については、森林法第 30 条の規定により下記のとおり告示等の手続きを了したので、当該告示及び附属明細書の写しを添えて報告します。

記

1. 告示年月日 令和 年 月 日 〇〇県告示第〇〇号
2. 掲示年月日 令和 年 月 日
3. 関係者宛  
通知年月日 令和 年 月 日 第 号
4. 期間満了日 令和 年 月 日
5. 照合者氏名

注意事項

1. 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 判とすること。
2. 保安林の解除、指定施業要件の変更、保安施設地区の指定及び解除については、上記様式に準じて作成し、報告すること。
3. 当該告示の報告に当たっては、当該告示の内容が調書等と一致しているかを照合するとともに、当該告示の写しの当該部分を朱線で囲むこと。
4. 国有林、民有林の区別は、当該欄を○で囲むこと。
5. 掲示場所が 2 以上の市町村の事務所にわたる場合には、掲示場所ごとに掲示年月日を記載すること。
6. 期間満了日とは、法第 32 条第 4 項による法第 30 条の告示の日から 40 日を経過した日をいう。